

経営比較分析表（平成30年度決算）

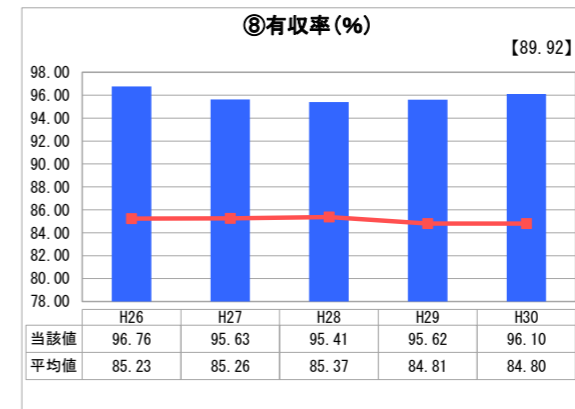
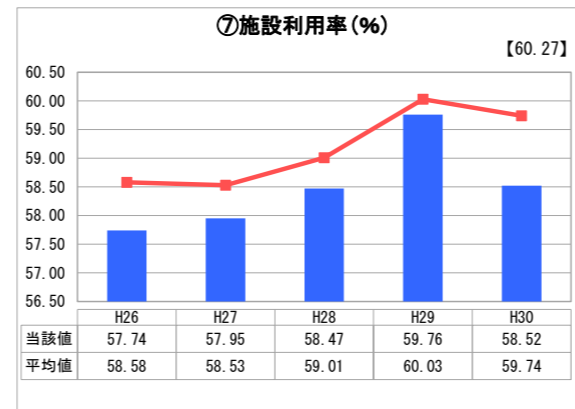
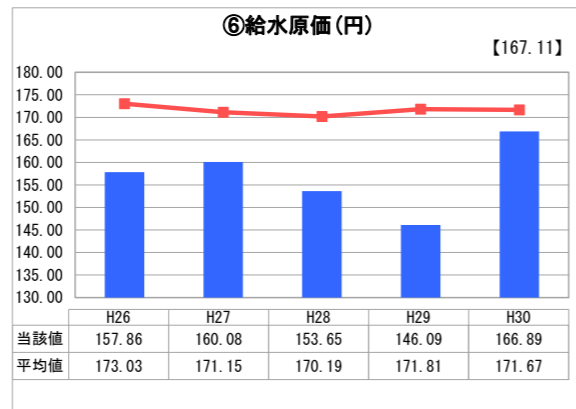
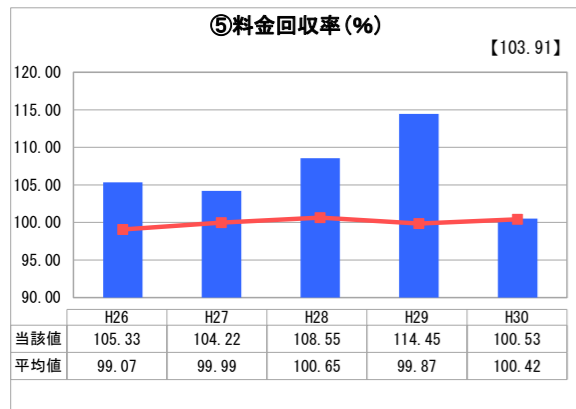
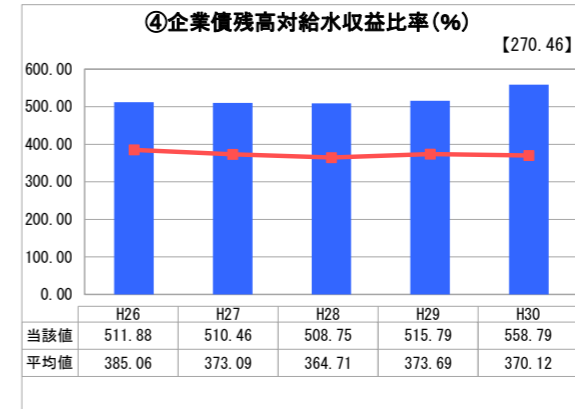
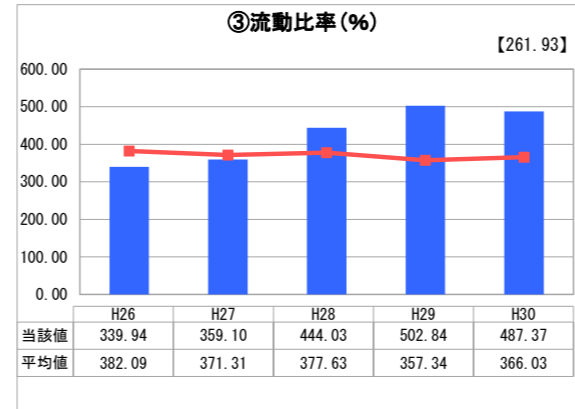
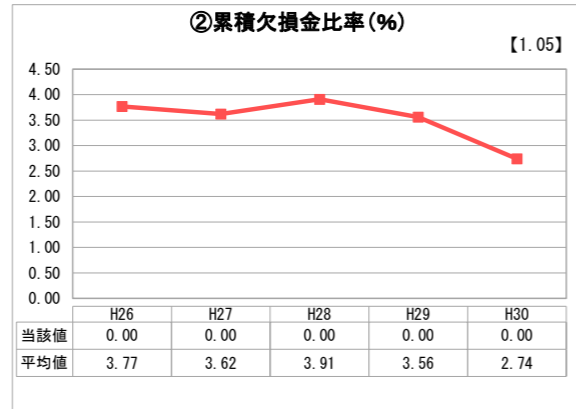
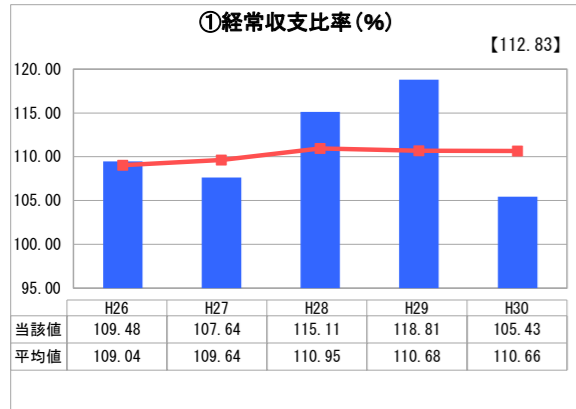
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	53.64	99.04	3,132	

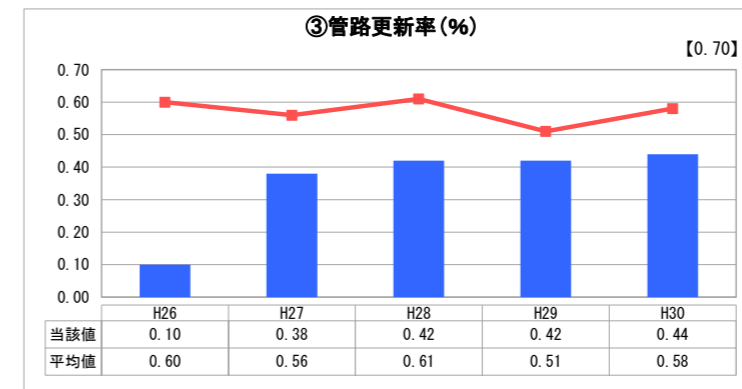
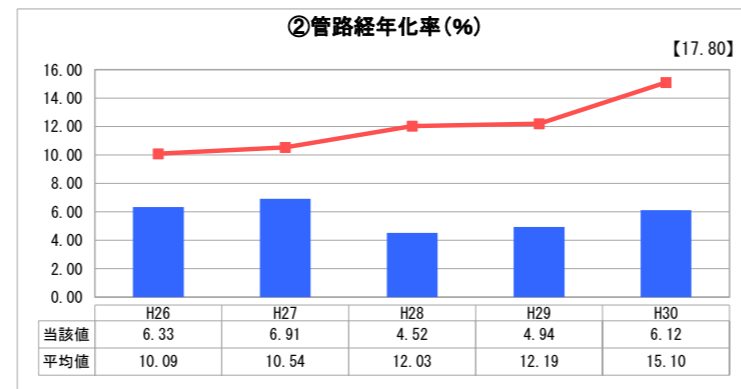
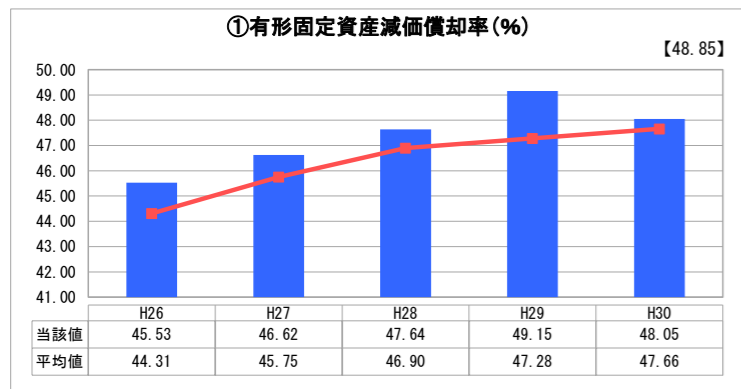
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,418	64.44	549.63
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
35,099	42.99	816.45

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

全体的にほぼ適正な数値となっている。しかし、経常収支比率及び料金回収率については、前年度に比べ低下しており、原因は事業間での人員見直しに伴う費用の増によるものである。また、企業債残高対給水収益比率については平均値を超えており、今後は企業債残高の減少に努める必要がある。施設利用率については、施設の更新を順次進めており、更新に併せて実情に合った施設への改修を検討している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について平均値で推移している。今後はアセットマネジメントに基づき、計画的に施設の更新や廃止及び耐震化を進めていく。管路更新についても、補助金等を積極的に活用し、地域防災計画で避難所に指定されている管路を優先的に更新を進める予定である。

全体総括

全体的には、料金回収率や有収率について平均値を超えており、累積欠損金も発生していないため、経営については概ね順調である。今後は施設の更新や管路耐震化等の費用が増大し、厳しい経営状況となることが予想されるため、工事財源の確保等、更なる経営改善を行う必要がある。また、今年度から開始した第3期包括的民間委託では料金徴収業務についても拡充しており、より一層の住民サービスの向上及び経営改善を図っていきたい。